

〔別紙〕

契約単価算出例

1 予定数量に対する金属の品目別小計の合計額を入札額とする。(入札額を40,000,000円とした場合)。

品名	品目	単位	予定数量	設計単価(円)	小計(円)	備考
金属類	粗大ごみ金属	t	130			
	不燃ごみ金属	t	130			
	アルミ缶プレス	t	290			
	スチール缶プレス	t	160			
	その他アルミ	t	9			
	その他スチール	t	26			
				合計(円) A	40,000,000	←入札額

2 契約単価を算出

品名	品目	入札書記載額(円) A	換算割合 B	予定数量(t) C	端数調整前単価(円) D = A × B / C	端数調整(円)	契約単価(円)
金属類	粗大ごみ金属	40,000,000	0.02966231	130	9,126.87	-0.01	9,126.86
	不燃ごみ金属		0.03625393	130	11,155.06	0.00	11,155.06
	アルミ缶プレス		0.85285468	290	117,635.13	0.00	117,635.13
	スチール缶プレス		0.05881756	160	14,704.39	0.00	14,704.39
	その他アルミ		0.01483115	9	65,916.23	-0.01	65,916.22
	その他スチール		0.00758037	26	11,662.11	-0.01	11,662.10

※契約単価には、消費税及び地方消費税を含まない。

※換算割合とは、市の積算総額(税抜)に占める品目別の積算額(税抜)の割合のこと。

※契約単価は、入札書記載額Aに金属の品目別の換算割合Bを乗じて得た額を、予定数量Cで割った額(小数点第三位以下を切り上げた小数点第二位までの額)とする。

※Dの単価に各品目別の予定数量を乗じて得た額の合計が落札額を上回る場合は、原則として予定数量の少ない品目から順に1銭単位で減算(場合によっては加算)し、端数調整を行う。